

第2回清瀬市商工振興計画策定委員会 議事要旨

【開催日時等】

日時：令和6年12月3日（火）午前10時から午前11時

場所：清瀬市役所2階 市民協働ルーム

【出席委員】

内野委員、赤坂委員、野島委員、里見委員、内田委員、山崎委員、松村委員、八代田委員、森田委員、根岸委員、前川委員、大野委員、植田委員

事務局：産業振興課長、商工係長、商工係主任

【配布資料】

資料1 清瀬市商工振興計画アンケートに係る各委員からのご意見

資料2 清瀬商工振興計画アンケートに係る事務局意見等

資料3 アンケート案（事業者向け）

資料4 アンケート案（消費者向け）

【議事】

1 議題

（1）第2回清瀬市商工振興計画庁内PTの開催について（報告）

事務局より、第1回の策定委員会の報告及び本会にてアンケートの内容精査及び12月に配布の承認を得たことを報告する。あわせて、長期総合計画を含め他部署で策定されている各計画と整合性を図りながら策定をすること、昨今の課題であるSDGs・環境問題・カスタマーハラスメント・事業者による障害者に対する合理的配慮といった項目について、アンケートに反映するよう意見があったことを報告する。

（2）清瀬市商工振興計画の振り返りについて

①各委員からの意見について（報告）

事務局より、事前に委員から提出された意見とそれに対する事務局の見解及び委員意見を反映したアンケート案について、資料1、資料3、資料4を基に説明をする。

②事務局意見等について（事業承継・SDGs・デジタル化・環境問題など）

事務局より、事務局の意見とそれを反映したアンケート案について資料2、資料3、資料4を基に説明をする。

(質疑)

委員：前回の事業者向けアンケートの回答率が 36%程度と低い。今回のアンケートはボリュームが増えるが、事務局はどの程度の回答率を想定しているか。

事務局：市政世論調査等では回答率はおおむね 50%ほどであるため、目標値はそのあたりを設定している。方策として、新たにロゴフォームを使用しオンラインでも回答できるようにするほか、清瀬商工会にも協力いただき、周知を図っていきたい。

委員長：事業者の方にどれだけご協力いただけるか、しっかりアプローチをしていきたい。

委員：議論されているように回答率を上げる工夫が必要である。QR コードの読み込みは簡単だが、スマートフォンの画面だとアンケートの全容が分からず、途中であきらめる可能性がある。パソコンからアクセスできると、回答がしやすいと思う。

委員長：市のホームページにリンクを貼って回答できるようにすることは可能か。事業者はパソコンで回答するところも多いだろう。

事務局：効果的な方法について検討する。

委員：資料 2 の 5 ページ目 Q 3 4 について、11 番目の選択肢として「AI や IoT」とあるが、IoT の認知度は低い。用語の説明を記載した方がよい。

事務局：追記をしたい。

委員：資料 2 の 3 ページ目の 19 番目の選択肢「代金回収の悪化」とあるが、「代金回収の長期化」といった表現の方がよいのではないか。さらに「運輸コストの増大」の選択肢があった方が、事業者にとって答えやすいと思う。

委員長：「悪化」という表現は確かに分かりづらいかもしれない。意味合いは、「長期化」と変わらないか。

事務局：お見込みのとおり。表現を変更したい。

委員長：「運輸コストの増大」についてはどうか。

事務局：選択肢 1 2 で「材料費・人件費以外の経費の増加」を設けているが、個別に選択肢を設けることもできる。

委員長：「材料費・人件費以外」とは家賃や光熱水費等を想定しているか。

事務局：お見込みのとおり。

委員長：それでは、人件費以外の経費に運輸コストの増大を含めることとして、個別の選択肢は設けないこととしたい。

委員：資料2の新設設問「事業承継の相談先について」であるが、農業従事者は後継者がいない場合、農地バンク制度(※)を活用している。商工会として、誰かが継承した場合、長期に渡れば補助金を出すといった制度があれば、借り手は負担が減り、貸し手は安心をする。市内の事業者の動向をよく把握しているのは不動産業であるので、可能であれば設問内に不動産業を選択肢に追加してほしい

※農地バンク：耕作可能な農地を登録し、就農希望者や経営規模を拡大したい農業者へ情報提供することにより、農地の賃借と有効利用を促進する制度。清瀬市は「生産緑地バンク」という名称で運用している。

委員長：いかがでしょうか。

事務局：それでは選択肢の士業関係者に「宅地建物取引士」を追加したい。

委員：資料2の9ページ「商品の配達」の設問について伺いたい。市内はコープから購入する人が多く、その理由は様々であるが重い荷物を配達してくれることが最も多い。そういう考えの方がこの設問を見た時に、答えづらいかもしれない。どのような意図でこの設問を設けたのか伺いたい。インターネットが普及しているからこのような設問が設けられているのか。

委員長：前回策定時も買物難民という形で同様の質問を設けていたが、インターネット注文の普及により、前回にはなかったサービスが生まれているので、このような形になっている。しかし設問の意図が伝わるように、表現を変更した方が良いだろう。

委員：設問内に導入の説明文を追加する必要があると思う。

委員：Q16～18をまとめてみると内容は理解できた。

委員長：設問の順番を入れ替えるといいかもしれない。先に利用サービスを答えてもらい、それを利用する理由を聞いた方がよいのではないか。

委員：配送料の質問は回答がしづらいのではないか。料金でなく頻度を聞いた方が良くと思う。

事務局：料金より回数の設問が効果的と考える。設問内容を変更したい。また設問の順番も変更したい。

事務局：今後のスケジュールとして、12月13日までの発送を考えている。
したがって、内容を精査した上で、事務局に一任いただき発送を行
いたい。

委員長：そのような形でよろしいか。

委 員：（異議なし）

委 員：次回の議題は。

事務局：アンケートの集計結果の報告と、それを反映した計画原案の検討を
していきたい。

委 員：承知した。

6 その他

次回開催日：令和7年2月26日（火）午前10時～
清瀬市役所4階 研修室1・2